

「LOVEひおうぎ貝」をどうぞ

大分県マリカルセンター 佐伯市蒲江

絆を深め聖地のパワー宿して

大分県マリカル チャーセンター(松久 國春館長、佐伯市蒲江)は、特産であるヒオウギ貝を使った「LOVEひおうぎ貝」の販売を始めた。

同センターは、人気が高まっている「LOVEひおうぎ貝」の販売のデイトスポットとして



恋人ロードに結びつけられたLOVEひおうぎ貝

は平成22年に認定されたという。

LOVEひおうぎ貝は、カラフルな貝殻の内側にそれぞれのメッセージを書き合せてお互いの貝を重ね合わせ、固く結んで完成。同センター敷地内の恋人ロードへ行き、思いを込めながら貝を結び付ける

という。

貝はカラフルな大小2種類があり、小は、最高の最後の恋(315円)、大は「良いご縁」(415円)。また、恋の魔法ソフトクリーム(350円)やオムシChu(1200円)も人気。

「恋人に限らず、夫婦、家族など好きな相手とどうぞ。2人の絆を深め、聖地のパワーを宿してもらいたい」と呼び掛けている。

恋人ロードは、同センター玄關からロビーを横切り、中庭の方向へ。海沿いまで進み、南へ向かうと左手にある。

まるっとヒオウギ貝 屋形島探検

参加者募る 22日まで

24日、自然に触れ海の幸満喫

同センターは、24日に行う「まるっとヒオウギ貝く屋形島探検」の参加者を募集している。

島の自然を散策し、ヒオウギ(緋扇)貝の養殖地などを見学する。当日は午前9時30分に同センターで受け付け後、定期船で屋形島に向かう。乗船時間は約10分。島ではヒオウギいかだなどを見学。海の幸たっぷりの昼食後、島の磯や海岸などを散策。午後4時50分

の定期船で蒲江へ。同5時にマリカルセンターで解散。

募集定員は20人。参加費(昼食、乗船代込み)は2千円。申し込みは、同センターの清家さん(☎0972・42・1311)、フアックス0972・42・1531。申し込み締め切りは22日。

蒲江湾に浮かぶ屋形

【屋形島】全域が日豊海岸国立公園に指定され、周囲約3キロ、面積は1・2平方キロ。人口は19人。真ん中に標高198・7メートルの龍王山があり、防風のため

の石垣に囲まれた集落が島の西と北側に点在する。海底サンゴ礁やダイビングのスポット、ハマユウの群落があり、貝柱を食用とするヒオウギガイの養殖が盛ん。